

# 奥州市 景気動向調査報告書

実績：平成21年4月～6月期

見通し：平成21年7月～9月期

奥州商工会議所

平成21年 9月

# 奥州市景気動向調査報告書

## — 平成 21 年 7 月調査結果 —

〔 実績：平成 21 年 4 月～ 6 月期  
見通し：平成 21 年 7 月～ 10 月期 〕

■調査期間：平成 21 年 7 月 15 日～7 月 31 日

■調査目的：奥州商工会議所管内の企業の景気動向を四半期ごとに把握し、地域産業の振興並びに経営指導の参考に資することを目的として実施する。

■調査機関：奥州商工会議所

■調査方法：今回調査から奥州商工会議所本所、江刺・胆沢・衣川各支所を対象区域とし、その会員事業所の中から、業態・規模を勘案して抽出した 350 事業所に対するファクシミリによるアンケート調査。

(水沢 259 事業所 江刺 67 事業所 胆沢 16 事業所 衣川 8 事業所)

■回収状況：調査対象先 350 事業所のうち、253 企業からの回答を得た。(回収率 72.3%)  
(業種別回答状況)

業種	調査依頼企業数	回答企業数	回収率
小売商業	35	24	68.6
卸商業	35	26	74.3
機械工業	35	32	91.4
総合建設業	35	22	62.9
運輸交通業	35	19	54.3
金融保険不動産業	35	25	71.4
宿泊飲食業	35	24	68.6
サービス業	35	28	80.0
食品繊維工業	35	21	60.0
専門建設業	35	32	91.4

■判断方法：業況・売上高・営業利益・資金繰り・在庫高については、日本商工会議所 [LOBO 調査] の算出方法を基準に、DI 値を用いて判断する。  
その他の調査項目については、実数値による判断を行う。

「DI」(diffusion index=デフュージョンインデックス)  
景気動向指数を集め景気全体の動きを表す工夫をした指数であり、特に言及のない限り、前年同期に比べ「増加・好転」したとする企業の割合から「減少・悪化」したとする企業の割合を差し引いた数値である。  
DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

## 要 約

### — 景気底打ち感から幾分脱却、しかし油断できず—

今期（平成 21 年 4 月～6 月期）から調査対象事業所を約 100 事業所増加、業種も従来の 8 業種から 10 業種へ細分化した。そのため前回調査との比較対象を「全産業」と、業種移動の少ない「小売商業」「卸商業」「運輸交通業」「金融保険不動産業」の 4 項目のみとした。

今期の管内商工業の景況（全産業）は、業況 DI、売上高 DI、営業利益 DI、借入状況 DI で数値が前回より回復、資金繰り DI、在庫高 DI で数値が前回よりも悪化という結果となった。

依然全ての項目が DI 値マイナスとなっているのには変わりなく、厳しい経営環境に置かれてはいるものの、売上高 DI、営業利益 DI に見られるようにマイナス幅が減少して、景気底打ちから幾分脱却しつつある。しかしながら借入状況（金額）の回復（減少）が「これ以上借入を増やせない」という事情と、資金繰りの数値が悪化している事からも解る通り、企業の苦しい状態がうかがえる。

業種別の景況（今回のみ 4 業種）は、「小売商業」「卸商業」「運輸交通業」で前回 DI 値よりも回復、「金融保険不動産業」は前回と同じ数値となった。

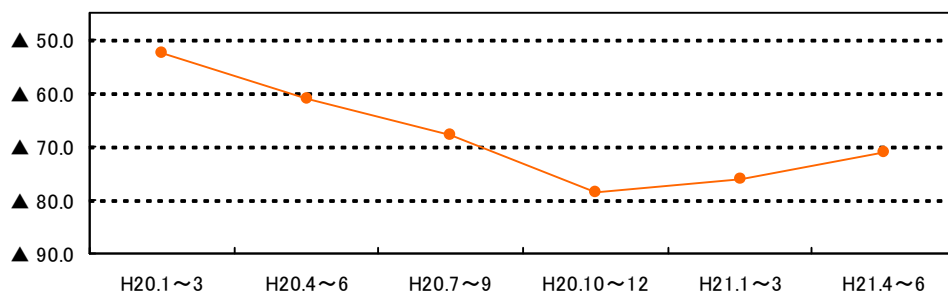
### 今期のキーワード 『企業の借入困難』

#### （1）業況判断 DI

前回比で見ると、全体では▲71.1（前回▲76.0）と前期よりもマイナス幅が若干ではあるが減少した。DI 値の推移では、前々回調査の▲78.6 を境に、2 期連続でグラフが上向きとなっている。

向こう 3 ヶ月（7 月～9 月）の先行き見通しについては、全体で▲72.9（前回▲85.3）に比べ数値が改善している。

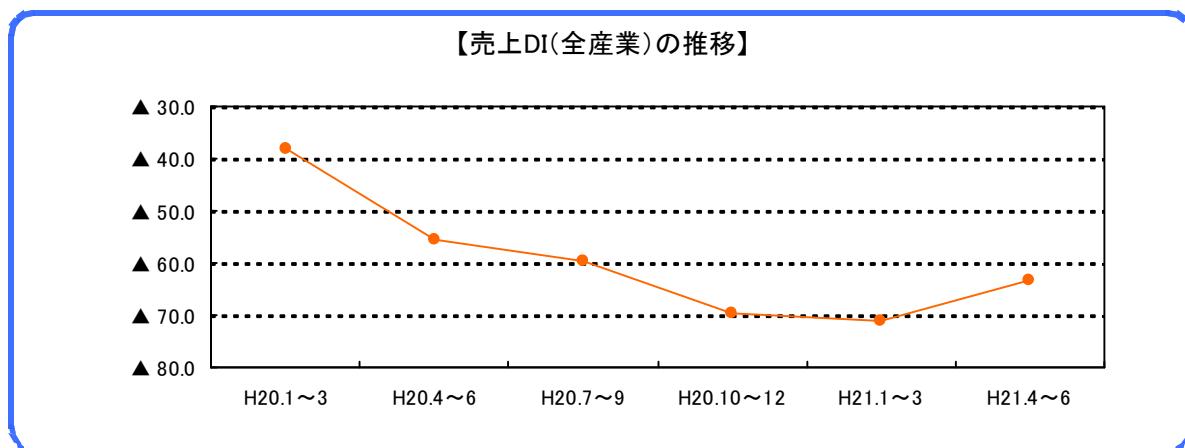
【業況DIの推移(全産業)】



## (2) 売上高D I

前回比で見ると、全体では▲63.5（前回▲71.2）とマイナス幅が減少した。DI 値の推移を見ても、前回まで5期連続して増えていたマイナス幅が今期減少した。

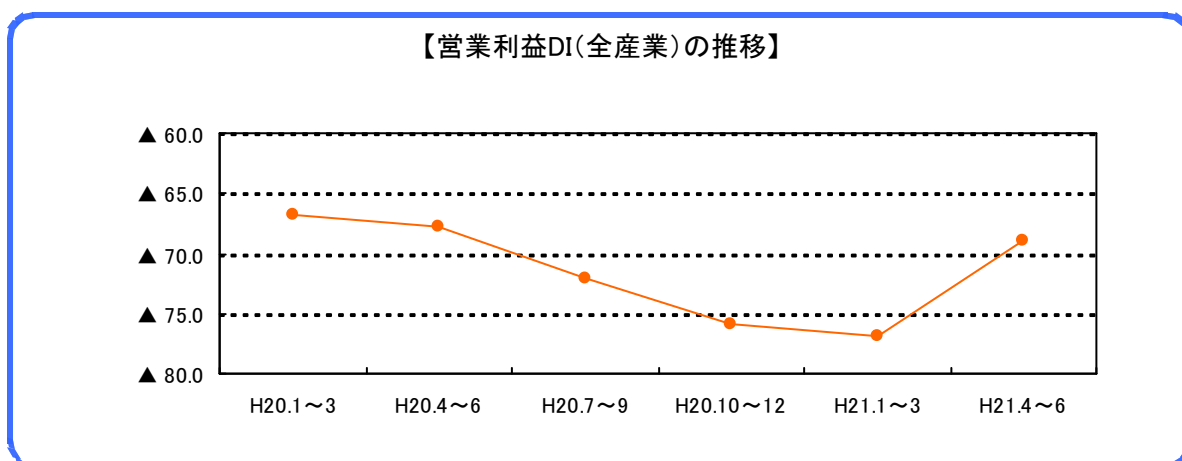
向こう3ヶ月（7月～9月）の先行き見通しについても、全体で▲68.4と前回の数値▲79.8よりも改善している。



## (3) 営業利益D I

前回比で見ると、全体では▲69.0（前回▲76.8）とマイナス幅が減少した。DI 値の推移を見ても、前回まで5期連続して増えていたマイナス幅が今期減少した。

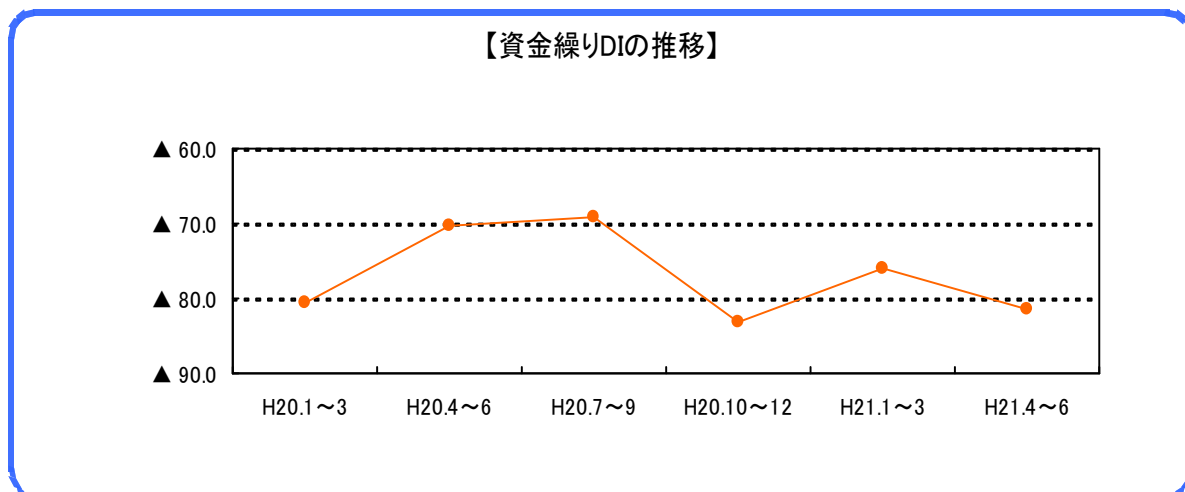
向こう3ヶ月（7月～9月）の先行き見通しについても、全体では▲76.5と前回の数値▲82.3から若干改善している。



#### (4) 資金繰りDI

前回比で見ると、全体では▲81.5（前回▲76.1）となり、マイナス幅が増加した。DI 値の推移では、前回、前々回とマイナス幅が減少していたものが、今期増加に転じている。

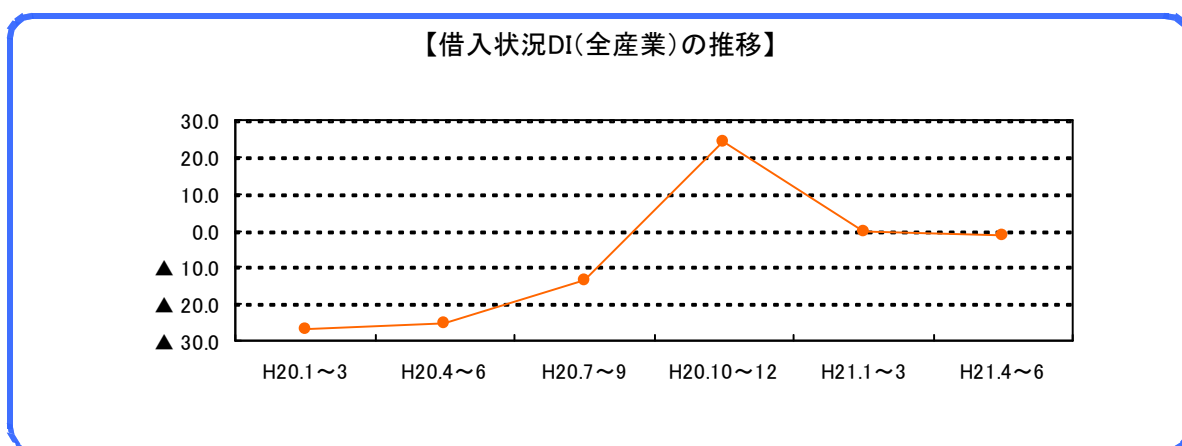
向こう3ヶ月（7月～9月）の先行き見通しについては、全体では▲82.0と前回の数値▲86.8から若干の改善傾向にある。



#### (5) 借入状況DI

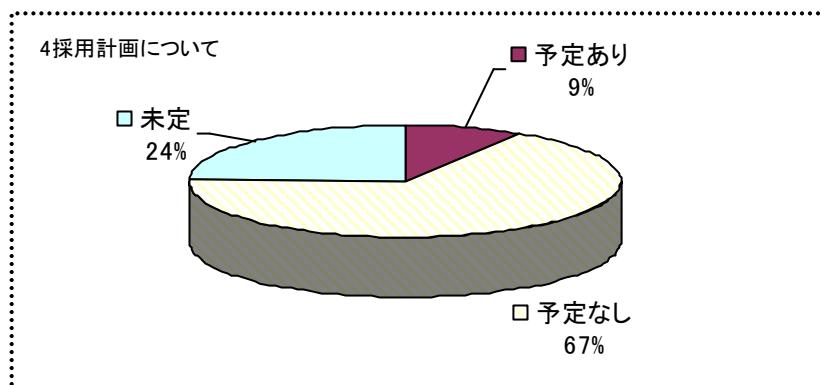
前回比で見ると、全体では▲1.2（前回 0.0）とマイナス幅が増え、借入額が減少している。DI 値の推移では、前回に続いてマイナス幅が増え、借入金が減っている事が伺える。

向こう3ヶ月（7月～9月）の先行き見通し(借入環境)は、全体で▲34.4となりマイナス幅が増加、借入困難の割合が増えている。



## (6) 雇用状況

従業員の数については、ほぼ適正であると判断している企業が 73.1%、多いと感じている企業が 22.5%、少ないとしている企業が 4.4%となっている。採用計画については、雇用状況の悪化が企業にも波及しており、「予定なし」66.8%、「未定」24.4%で全体の 9 割を占める結果となっている。



## (7) 自由意見

### (小売商業)

- ・4-6月は前年比やや増で利益も出ている。
- ・消費低迷、買い物控え、購買意欲なしの状況
- ・毎月の売り上げは日々の努力により変動していないが、粗利は減少傾向にある。

### (卸商業)

- ・やや景気に好転が見られるとの報道があるが、地方経済は依然として停滞ムードである。消費者の購買意欲は弱く、低価格指向が強まっている中、流通各段階で適正利益の確保が最重要課題と考えるが、景気の回復まで体力勝負の持久戦の様相を呈していると考えられる。
- ・休業日の増加と、賃金の削減。
- ・財務内容が日増しに悪化し、目先の資金手当ての融資を受けてもこの先がまだ不安でなりません。
- ・時間外労働を減らす努力をしている。資金回収の強化を図っている。
- ・定期昇給の実施

### (機械工業)

- ・一つの産業に集中せず、全産業の底上げが必要。雇用助成金等各種助成金に頼らず、自社の体制や販売品目を変えていく必要がある。
- ・緊急雇用安定助成金を実施し安定をはかっている。

- ・現在 8 名の社員が、今の就業時間内で休まず勤務している。納期が短いため、公休出勤や残業で対応している。
- ・現在雇用助成金を利用し雇用を支えているが、業況回復が今後も長期化するようであれば、制度利用を打ち切り、解雇をするしか生き残れなくなると考えている。
- ・受注量が対前年比の約 50%の状態が昨年 12 月からつづいている。今までは雇用調整助成金を受給し雇用を守ってきたが、この状態がまだまだ長引くようで、受注量に見合った人員に削減すべきか迷っている。
- ・売上低下による雇用調整の実施

#### (運輸交通業)

- ・とにかく大変です。
- ・何事も節約
- ・小型車の修理はさほどではないが、大型車の修理の落ち込みが予想以上である。定期昇給・ボーナス支給なしで人件費削減で乗り切る以外ない。役員報酬も当然カット、リストラは最後の最後に考える。

#### (金融・保険・不動産業)

- ・市町村合併後、宅地開発において規制が厳しくなり、さらに事業者負担の項目が多くなり、事業がやりにくくなった。金融機関の住宅ローンの融資姿勢が厳しく感じる。緩和することにより、有効な景気対策になると思うのだが…。

#### (宿泊・飲食業)

- ・とにかく悪いの一言。打つ手は打ったが、後は景気回復を待つしかない。
- ・宿泊・宴会が業務であるが、ビジネス客、企業宴会の減少が著しい一般客も所得減少のためか財布の紐が固い。
- ・地震の影響で昨年同期の売り上げが下がっているため、売り上げの増加を見込んでいる。

#### (理美容サービス業)

- ・9 月は株価上昇が見込まれるが、その後急落するのではないか。中央の好景気が地方に来るまで半年はかかる。
- ・低料金の店舗との競合あり。

#### (専門建設業)

- ・家が建たない、見積もりもない、工事もない、新規事業に取り組んでいるが、4-5 年はかかる。

## \* 産業別業況調査結果

今回調査のみ、業種を従来の8業種から10業種へ細分化した関係上、「全産業」と、業種移動の少ない「小売商業」「卸商業」「運輸交通業」「金融保険不動産業」の4項目の結果のみ掲載する。

### 【全 産 業】

当期（平成21年4～6月期：以下同）の奥州商工会議所の全産業を通じての業況は、前回に引き続き「改善」の傾向にある。産業別（4業種）業況では「小売商業」「卸商業」「運輸交通業」で数値が改善、「金融保険不動産業」は前回同様の数値となった。

来期（平成21年4～6月期：以下同）の全産業を通じての見通しも「改善」の見通しが示されている。産業別（4業種）では「小売商業」「卸商業」「運輸交通業」で数値が改善、「金融保険不動産業」は前回同様の数値となった。

### 【1. 小売商業】

当期の業況D Iは▲57.9と前回（▲100.0）より数値が改善した。個別項目でも売上高D I、営業利益D I、在庫高D I、借入状況D Iで数値が改善した。資金繰りD Iは前回と同じの数値を示している。

来期の見通しについても、業況D Iは▲55.6（前回▲100.0）と前回よりも改善している。項目別では売上高D I、営業利益D I、資金繰りD I、借入環境D Iについて前回よりも改善、在庫高D Iは悪化の見通しが示されている。

### 【2. 卸商業】

当期の業況D Iは▲50.0と前回（▲60.0）より数値が改善した。個別項目では、売上高D I、在庫高D I、資金繰りD Iで改善が見られ、営業利益D I、借入状況D Iで数値が悪化した。

来期の見通しについては、業況D Iが▲80.0（前回▲81.8）と改善している。個別項目では売上高D I、在庫高D I、借入環境D Iで改善の見通し、営業利益D Iは前回同様の数値、資金繰りD Iは悪化の見通しを示している。

### 【3. 運輸交通業】

当期の業況D Iは▲71.4で前回（▲100.0）より数値が改善した。項目別では売上高D I、営業利益D I、資金繰りD I、在庫高D I、借入状況D Iの全項目で数値が改善した。

来期の見通しについては、業況D Iが▲63.6（前回▲87.5）と数値が改善した。項目別では売上高D I、営業利益D I、資金繰りD Iで数値が改善し、借入環境D Iで悪化の見通しを示している。在庫高D Iは前回同様の数値だった。



#### 【4. 金融保険不動産業】

当期の業況D Iは▲100.0と前回（▲100.0）と同じ数値を示した。項目別では在庫高D I、借入状況D Iについて数値が改善、売上高D I、営業利益D I、資金繰りD Iは悪化の数値を示している。

来期の見通しについても業況D Iが▲100.0（前回▲100.0）と前回同様の見通しとなり、項目別では資金繰りD I、在庫高D I、で数値が改善、売上高D I、営業利益D I、借入環境D Iで数値の悪化見通しがなされている。

下段-前回DI値

【産業別業況実績DI】〔期間：平成21年4月～6月実績〕 青-改善 赤-悪化

	全産業	小売商業	卸商業	機械工業	総合建設	運輸交通	金融保険	宿泊飲食	理美容サ	食品繊維	専門建設
業況	▲ 71.1	▲ 57.9	▲ 50.0	▲ 85.7	▲ 75.0	▲ 71.4	▲ 100.0	▲ 86.7	▲ 53.8	▲ 81.8	▲ 47.4
	-76.0	-100.0	-60.0	-	-	-100.0	-100.0	-	-	-	-
売上高	▲ 63.5	▲ 36.8	▲ 46.7	▲ 86.2	▲ 46.7	▲ 75.0	▲ 73.3	▲ 86.7	▲ 23.1	▲ 66.7	▲ 71.4
	-71.2	-87.5	-84.6	-	-	-85.7	-71.4	-	-	-	-
営業利益	▲ 69.0	▲ 42.9	▲ 63.6	▲ 80.0	▲ 57.1	▲ 77.8	▲ 85.7	▲ 88.2	▲ 41.2	▲ 63.6	▲ 81.0
	-76.8	-88.8	-60.0	-	-	-86.7	-77.8	-	-	-	-
資金繰り	▲ 81.5	▲ 71.4	▲ 33.3	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 60.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 60.0	▲ 77.8	▲ 100.0
	-76.1	-86.7	-66.7	-	-	-100.0	-33.3	-	-	-	-
在庫高	▲ 67.1	▲ 100.0	▲ 25.0	▲ 46.7	▲ 100.0	▲ 20.0	▲ 66.7	▲ 100.0	▲ 33.3	▲ 100.0	▲ 100.0
	-66.7	-100.0	-33.3	-	-	-100.0	-100.0	-	-	-	-
借入状況	▲ 1.2	4.2	▲ 7.7	40.6	4.5	▲ 26.3	▲ 12.0	12.5	▲ 10.7	▲ 9.5	▲ 18.8
	0.0	33.3	-33.3	-	-	-11.1	0.0	-	-	-	-

※借入状況は、数値減少は借入金減少を示し「改善」、数値増加は借入金増加を示し「悪化」と判定。

【産業別業況予想DI】〔期間：平成21年6月時点～向こう3ヶ月予測〕

	全産業	小売商業	卸商業	機械工業	総合建設	運輸交通	金融保険	宿泊飲食	理美容サ	食品繊維	専門建設
業況	▲ 72.9	▲ 55.6	▲ 80.0	▲ 90.0	▲ 69.2	▲ 63.6	▲ 100.0	▲ 87.5	▲ 57.1	▲ 42.9	▲ 84.6
	-85.3	-100.0	-81.8	-	-	-87.5	-100.0	-	-	-	-
売上高	▲ 68.4	▲ 64.7	▲ 66.7	▲ 90.5	▲ 100.0	▲ 69.2	▲ 83.3	▲ 66.7	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 68.4
	-79.8	-86.7	-83.3	-	-	-76.5	-71.4	-	-	-	-
営業利益	▲ 76.5	▲ 64.7	▲ 77.8	▲ 82.6	▲ 100.0	▲ 73.3	▲ 85.7	▲ 68.4	▲ 83.3	▲ 42.9	▲ 89.5
	-82.3	-88.9	-77.8	-	-	-87.5	-50.0	-	-	-	-
資金繰り	▲ 82.0	▲ 69.2	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 69.2	▲ 63.6	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 85.7	▲ 69.2	▲ 84.6
	-86.8	-100.0	-71.4	-	-	-100.0	-100.0	-	-	-	-
在庫高	▲ 69.5	▲ 80.0	▲ 25.0	▲ 45.5	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 60.0	▲ 100.0	▲ 77.8
	-69.2	-71.4	-100.0	-	-	-100.0	-100.0	-	-	-	-
借入環境	▲ 34.4	0.0	14.3	▲ 45.5	▲ 60.0	▲ 20.0	▲ 11.1	▲ 42.9	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 60.0
	-17.2	-75.0	0.0	-	-	33.3	50.0	-	-	-	-

※借入環境は、数値増加は借入緩和を示し「改善」、数値減少は借入困難を示し「悪化」と判定。

☆今回調査より、対象業種を8から10業種に細分化した。

そのため今回に限り、前回調査DI値は「全業種」「小売」「卸」「交通」「金融保険」のみ掲載。

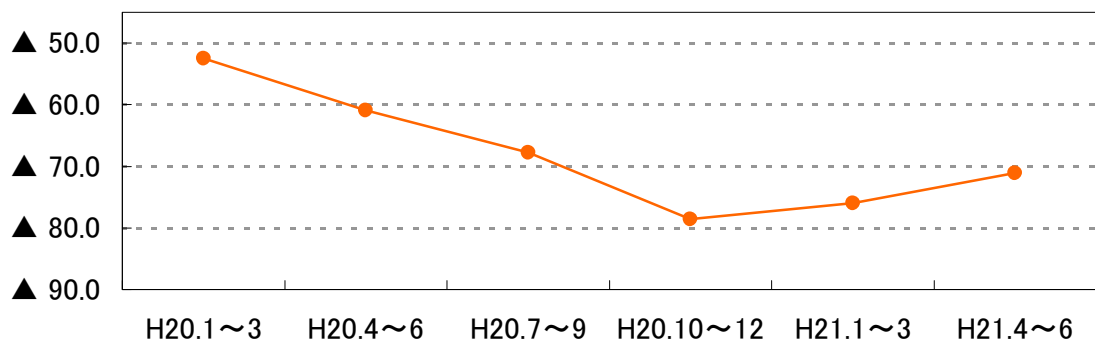
## ■ 業況判断 ■

【業況DI（全産業）の推移】

	H20.1~3	H20.4~6	H20.7~9	H20.10~12	H21.1~3	H21.4~6	見通し
全産業	▲ 52.5	▲ 60.9	▲ 67.7	▲ 78.6	▲ 76.0	▲ 71.1	▲ 72.9
小売商業	▲ 27.2	▲ 69.2	▲ 63.6	▲ 84.6	▲ 100.0	▲ 57.9	▲ 55.6
卸商業	▲ 50.0	▲ 69.2	▲ 83.3	▲ 100.0	▲ 60.0	▲ 50.0	▲ 80.0
機械工業	-	-	-	-	-	▲ 85.7	▲ 90.0
総合建設	-	-	-	-	-	▲ 75.0	▲ 69.2
運輸交通	▲ 71.4	▲ 85.7	▲ 85.7	▲ 83.3	▲ 100.0	▲ 71.4	▲ 63.6
金融保険	▲ 71.4	0.0	▲ 50.0	▲ 80.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
宿泊飲食	-	-	-	-	-	▲ 86.7	▲ 87.5
理美容サ	-	-	-	-	-	▲ 53.8	▲ 57.1
食品繊維	-	-	-	-	-	▲ 81.8	▲ 42.9
専門建設	-	-	-	-	-	▲ 47.4	▲ 84.6

平成21年4月現在

【業況DIの推移(全産業)】



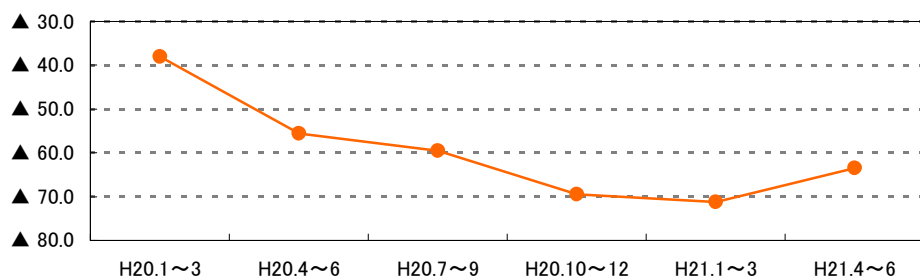
## ■ 売上（受注・出荷） ■

【売上DI（全産業）の推移】

	H20.1~3	H20.4~6	H20.7~9	H20.10~12	H21.1~3	H21.4~6	見通し
全産業	▲ 38.1	▲ 55.6	▲ 59.6	▲ 69.5	▲ 71.2	▲ 63.5	▲ 68.4
小売商業	9.1	▲ 66.7	▲ 77.8	▲ 71.4	▲ 87.5	▲ 36.8	▲ 64.7
卸商業	▲ 42.8	▲ 66.7	▲ 84.6	▲ 84.6	▲ 84.6	▲ 46.7	▲ 66.7
機械工業	-	-	-	-	-	▲ 86.2	▲ 90.5
総合建設	-	-	-	-	-	▲ 46.7	▲ 100.0
運輸交通	▲ 66.7	▲ 50.5	▲ 33.3	▲ 71.4	▲ 85.7	▲ 75.0	▲ 69.2
金融保険	▲ 33.3	▲ 50.5	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 71.4	▲ 73.3	▲ 83.3
宿泊飲食	-	-	-	-	-	▲ 86.7	▲ 66.7
理美容サ	-	-	-	-	-	▲ 23.1	▲ 28.6
食品繊維	-	-	-	-	-	▲ 66.7	▲ 42.9
専門建設	-	-	-	-	-	▲ 71.4	▲ 68.4

平成21年4月現在

【売上DI(全産業)の推移】



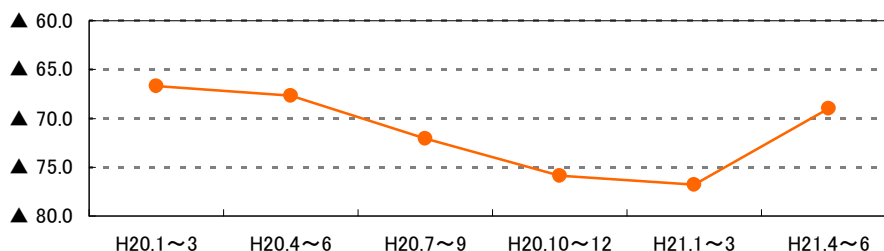
## ■ 営業利益 ■

【営業利益DI（全産業）の推移】

	H20.1~3	H20.4~6	H20.7~9	H20.10~12	H21.1~3	H21.4~6	見通し
全産業	▲ 66.7	▲ 67.7	▲ 72.0	▲ 75.9	▲ 76.8	▲ 69.0	▲ 76.5
小売商業	▲ 40.0	▲ 76.5	▲ 66.7	▲ 85.7	▲ 88.8	▲ 42.9	▲ 64.7
卸商業	▲ 69.2	▲ 76.5	▲ 84.6	▲ 83.3	▲ 60.0	▲ 63.6	▲ 77.8
機械工業	-	-	-	-	-	▲ 80.0	▲ 82.6
総合建設	-	-	-	-	-	▲ 57.1	▲ 100.0
運輸交通	▲ 85.7	▲ 87.5	▲ 81.8	▲ 73.3	▲ 86.7	▲ 77.8	▲ 73.3
金融保険	0.0	0.0	▲ 33.3	▲ 77.8	▲ 77.8	▲ 85.7	▲ 85.7
宿泊飲食	-	-	-	-	-	▲ 88.2	▲ 68.4
理美容サ	-	-	-	-	-	▲ 41.2	▲ 83.3
食品繊維	-	-	-	-	-	▲ 63.6	▲ 42.9
専門建設	-	-	-	-	-	▲ 81.0	▲ 89.5

平成21年4月現在

【営業利益DI(全産業)の推移】



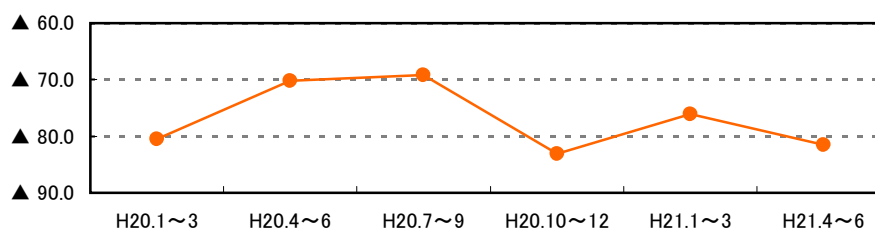
## ■ 資金繰り ■

【資金繰りDI（全産業）の推移】

	H20.1~3	H20.4~6	H20.7~9	H20.10~12	H21.1~3	H21.4~6	見通し
全産業	▲ 80.5	▲ 70.2	▲ 69.2	▲ 83.1	▲ 76.1	▲ 81.5	▲ 82.0
小売商業	▲ 50.0	▲ 60.0	▲ 100.0	▲ 80.0	▲ 86.7	▲ 71.4	▲ 69.2
卸商業	▲ 60.0	▲ 60.0	▲ 60.0	▲ 60.0	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 100.0
機械工業	-	-	-	-	-	▲ 100.0	▲ 100.0
総合建設	-	-	-	-	-	▲ 100.0	▲ 69.2
運輸交通	▲ 71.4	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 83.3	▲ 100.0	▲ 60.0	▲ 63.6
金融保険	100.0	33.3	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 33.3	▲ 100.0	▲ 100.0
宿泊飲食	-	-	-	-	-	▲ 100.0	▲ 100.0
理美容サ	-	-	-	-	-	▲ 60.0	▲ 85.7
食品繊維	-	-	-	-	-	▲ 77.8	▲ 69.2
専門建設	-	-	-	-	-	▲ 100.0	▲ 84.6

平成21年4月現在

【資金繰りDIの推移】



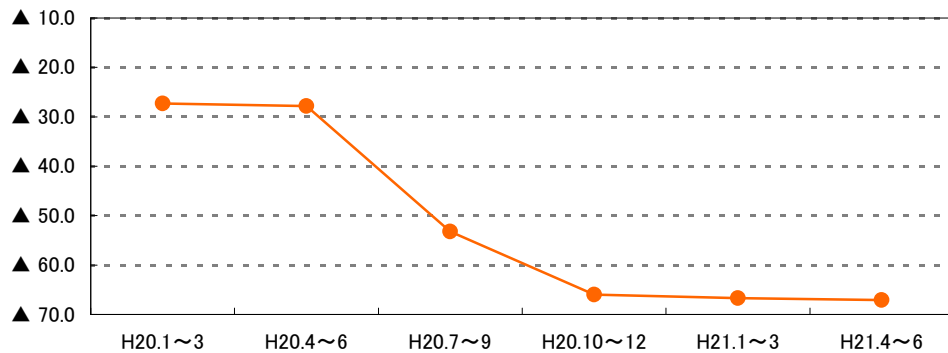
## ■在庫高■

【在庫高DI（全産業）の推移】

	H20.1~3	H20.4~6	H20.7~9	H20.10~12	H21.1~3	H21.4~6	見通し
全産業	▲ 27.3	▲ 27.8	▲ 53.2	▲ 66.0	▲ 66.7	▲ 67.1	▲ 69.5
小売商業	50.0	25.0	▲ 40.0	▲ 14.3	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 80.0
卸商業	▲ 60.0	25.0	0.0	▲ 71.4	▲ 33.3	▲ 25.0	▲ 25.0
機械工業	-	-	-	-	-	▲ 46.7	▲ 45.5
総合建設	-	-	-	-	-	▲ 100.0	▲ 100.0
運輸交通	▲ 66.7	50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 20.0	▲ 100.0
金融保険	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 66.7	▲ 100.0
宿泊飲食	-	-	-	-	-	▲ 100.0	▲ 100.0
理美容サ	-	-	-	-	-	▲ 33.3	▲ 60.0
食品繊維	-	-	-	-	-	▲ 100.0	▲ 100.0
専門建設	-	-	-	-	-	▲ 100.0	▲ 77.8

平成21年4月現在

【在庫高DI(全産業)の推移】



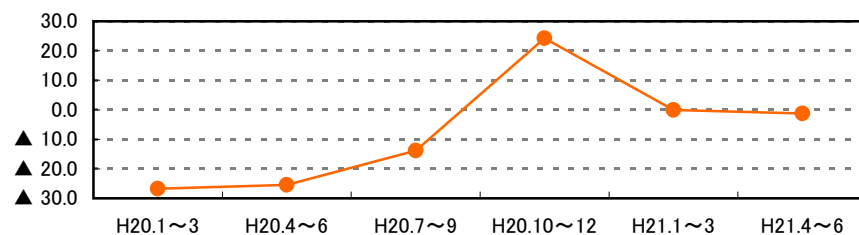
## ■借入状況■

【借入状況DI（全産業）の推移】

	H20.1~3	H20.4~6	H20.7~9	H20.10~12	H21.1~3	H21.4~6	見通し
全産業	▲ 26.7	▲ 25.4	▲ 13.8	24.2	0.0	▲ 1.2	▲ 34.4
小売商業	▲ 16.7	▲ 27.3	▲ 20.0	50.0	33.3	4.2	0.0
卸商業	▲ 55.6	▲ 27.3	0.0	▲ 11.1	▲ 33.3	▲ 7.7	14.3
機械工業	-	-	-	-	-	40.6	▲ 45.5
総合建設	-	-	-	-	-	4.5	▲ 60.0
運輸交通	▲ 25.0	▲ 40.0	▲ 33.3	40.0	▲ 11.1	▲ 26.3	▲ 20.0
金融保険	0.0	▲ 25.0	▲ 20.0	33.3	0.0	▲ 12.0	▲ 11.1
宿泊飲食	-	-	-	-	-	12.5	▲ 42.9
理美容サ	-	-	-	-	-	▲ 10.7	▲ 50.0
食品繊維	-	-	-	-	-	▲ 9.5	▲ 33.3
専門建設	-	-	-	-	-	▲ 18.8	▲ 60.0

平成21年4月現在

【借入状況DI(全産業)の推移】

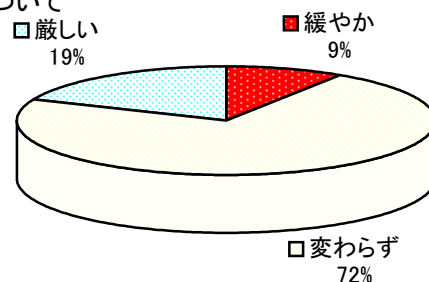


\* 参考調査（全産業）

1 借入環境

	緩やか	変わらず	厳しい	合計
回答	20	159	41	220
割合	9.1%	72.3%	18.6%	100.0%

1借入の環境について



2 設備投資

※設備投資をしたか

	した	しない	回答数
H20. 1月～3月	21	122	143
H20. 4月～6月	31	107	143
H20. 7月～9月	33	124	157
H20. 10月～12月	31	141	172
H21. 1月～3月	18	145	163
H21. 4月～6月	33	220	253
割合	13.0%	87.0%	

※向こう3ヶ月内に設備投資の予定があるか

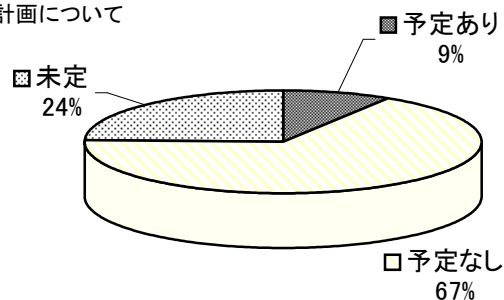
	する	しない	回答数
H20. 1月～3月	22	118	140
H20. 4月～6月	20	120	140
H20. 7月～9月	18	135	153
H20. 10月～12月	17	155	172
H21. 1月～3月	42	112	154
H21. 4月～6月	36	217	253
割合	14.2%	85.8%	

3 雇用

※現在の従業員数はどうか

	多い	適正	少ない
回答	56	182	11
割合	22.5%	73.1%	4.4%

4採用計画について



4 採用計画について

	予定あり	予定なし	未定
回答	22	167	61
全体割合	8.8%	66.8%	24.4%

5 全体的な経営環境はどうか（自由回答）

		+	割合		-	割合
①天候の影響	好影響	22	17.2%	悪影響	106	82.8%
②販売価格	上昇	21	11.1%	低下	168	88.9%
③冬季賞与	支給	40	19.7%	なし	163	80.3%
④時間外労働	増加	25	14.1%	減少	152	85.9%
⑤人件費比率	増加	91	50.3%	減少	90	49.7%
⑥競争	緩和	7	3.5%	激化	193	96.5%
⑦現金売上	上昇	19	12.8%	低下	130	87.2%
⑧代金回収期間	短縮	29	19.3%	延長	121	80.7%
⑨仕入値	上昇	90	58.4%	低下	64	41.6%
⑩当期利益	好転	30	14.9%	悪化	171	85.1%

5 経営環境

